

「にらさき写真掲示板」—photo message—

7月7日の七夕の日、穴山さくら公園において、穴山町（旧北巨摩郡穴山村伊藤窪）出身で、童謡「たなばたさま」を作詞した、童謡詩人・権藤はなよ氏（旧姓伊藤）の詩歌除幕式が行われました。

当日はたくさんの関係者が見守るなか、横内公明葦崎市長、伊藤まなみ氏、栗原徳昌氏、伊藤正大氏による除幕が行われ、続いて、葦崎シティ・ジュニアコーラスの子どもたちにより「たなばたさま」などの歌が披露されました。

また、伊藤まなみ氏の講演では「女性であり、母親であったからこそ生まれた詩であり、今日の除幕で、はなよはやっと故郷にかえることができました。まるで、今日のために作られた詩のように思えます。詩のなかにもあるように、今日のことを『空からみて』喜んでいると思います」とお話をされました。

童謡「たなばたさま」の作詞者 権藤はなよ生誕の地をPR



「きれいな景色で、お腹がいっぱいです」

6月22日、甘利山山頂にはレンゲツツジを堪能しようと、全国各地より観光客が押し寄せました。東京から訪れた雨蔵さんは「20年前に来たときより、レンゲツツジが少し小さいけれど、これから大きくなっていくのが楽しみです。また、富士が顔をだしてくれてとてもうれしいです。」静岡県菊川市の加藤さんは「富士山と盆地とツツジがきれいに見れて、盛りだくさんでお腹いっぱいです。」とうれしそうに感想を話してくれました。

「にらまん」が家庭の一品に…

6月22日、「ニコリ」調理室において、にらの会のメンバーによる葦崎のB級グルメ「にらまん」をつくる料理教室が開催されました。

参加した親子20名は、講師からつくり方の指導をうけながら、にらまんづくりに悪戦苦闘していました。参加した瀧口由季乃ちゃんは「最後にタマゴをのせるところがむずかしかった。でも、焼くところが楽しかった。またつくりたい。」と感想を話してくれました。

